田園村落の子供は、学校から帰って後も或は田畑のあたたりに或は野原の邊に、到る處に賞自自然に遊ぶ場所が殆と見出さざるであるが、都市の児童はそういふ場所が殆と得られざる。そこで近来児童遊園の問題がだんくと謳われて来た。児童遊園は始めは遊園の都市地に於て之を見せるが、その後だんくと多くの文明園に及ばざるが、今日ではざるは、都市地に於ても之を見せるのが、一般にかたくなく、不良醜惡の刺戟誘惑も少なく、極自由かつ愉快に空気のよい處で遊ぶやうに出来る居るのである。之はひとり公園のみではない、一般公衆の集む處でしか大なる庭園の備へて居るもののが少なく、とては、かういふ設けの出来て居るものが少なく、たとへば動物園の如き居るにはははり児童遊園の運動であって、この運動は最近に於てかな

市の公共事業としてだんく盛になるに至つ。
千二百八十六年にボストンで、或慈善団体
たしか千八百八十六年にボストンで、或慈善団体
がペリカンの例に倣って初の児童遊園を作つたのが、米国に於けるもくの初めであり
設けたので、米国に於けるもくの初めである
が、其後次第に多くの都会に流出って来、千九百
○六年には全国にわたる大なる組合が出得て、
二十二州の之に加へ、都合地に児童遊園を設け
るといふ運動が全米國に當然つれて来、特に此の
運動の機関としてブレーグラウンドと題する雑誌
へ出来るやうな有様である。爾後非常なる勢を以
て発達して来た、その有様を一言して見ると、此
の淵のあった翌年即ち千九七七年には六十六
個の都市が之を設け、その他の千九九○年には百
八十五個の都市に於て、更にその翌千九九○年
には三百三十九の都市に於て、それから五年を經
たる千九十三年には至っては六百四十二の都市に
於て、其れも皆之を設けるやうになり、総計三
千有餘の児童遊園が出来るやうな有様である
らしいである、ある處ではピック・センターと称
して居るし、他の處ではケリューチョン・センター
など、呼んで居る、或は単にブレーグラウンド
と云ふて居る處もある。
かかるふ児童遊園の内容に至っては、幼児を主
にして設けられたものと、青少年の為に設けられた
ものとによって多少異なる居るので、青少年の自
由運動場として設けられたものの中には運動の方
法を教へる教師などの居る處もあつ、まだいろいろ
の運動機械の備へつけられて居る處もあつ、また一方
は大人の遊戯機械の備えの為に、音楽の演奏などの
催されるやうなものもあり、運動俱乐部の布設ら
れて居るのもあつ、入場料を取つて居るやうな
所もあるが、児童遊園にはさういふ込み入つた事
はしないで、だつ極自由にかつ楽しく子供が遊べ
るやうに出るるのである。
我が国に於ても都会地にはどうしてかういふ
場所が必要であろうと思う。都営地に於ては田舎
と異り人家は稀少であり、車馬は往反する、子供
が自由に遊べる場所としては殆どないから何等か
の設備を講ずる事はどうしても必要であると思う
のであるが、馬車離れの街にうろうして
ふ。そうでないと車馬雑沓の街にうろうして
居て、落ちる遊びを出る・かつなか（危険の
多い事である。それのみならず石を放ったり、落
書きをしたりいろ・のいたずらをする事にもな
り、或は四つ角や店舗きにぶらくして居って、
衛生上にも道徳上にもあまりよろしくない影響を
受ける事は避べからざる所であろう。それなら
ば首都地に於ては特に必要になって来る
所である。急速に発達した都営地に於ては子供
と変わる人々が俄に発達した
工業地なに於ては、もと子供の遊び場であった
所がだんくとり遊び上げられる、四五年前までは
彼等がつばをつんで、蝶々を捕ったりした
所が、今は工場になったり倉庫建てられた所
が、どこへ行っても車馬雑沓で危険處が、さ
うでなければ無用のものを入れるべきからすと掲示され
て居る處ばかりで、遊び場を見出すようなとする子供
には殆ど方塞がりであると云ふ事を云ふて居る
如きものが都営地に於ては特に必要になって来る
如きもののが都営地に於ては特に必要になって来る
如きもののが都営地に於ては特に必要になって来る
如きもののが都営地に於ては特に必要になって来る
如きもののが都営地に於ては特に必要になって来る
教育と児童の身体障害

文学士 上野 一

十二度の近視といふと、よほどひどい近視である。市街などは到底眼鏡なしで歩くことは出来ぬ。毎日の仕事でも、ほど眼を近くなればならないから、無理に眼鏡なしでやると、早く疲れのみでなく、頭が痛む出す、気気がれしくなるなど、様々な障害をひき起す。然にここに住む者は、親交もき交も、学校の先生も、かひつじの賢者も、知らすに居て、このために生するさま、人の障害と、それ精神病であると、何とかかいふ見当はついつ、催眠術をかけたり、何とかかいぶ見当はついつ、眼の病をまさせりし、散々病くった場面の

（文責在記者）